

財政状況



本町では、町の財政がどのように運営されているかを町民のみなさんに知っていただくため、毎年6月および12月に財政状況を公表しています。今回の公表数値は、令和2年3月末現在のものです。

	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	92億 12万円	78億3,646万円	69億3,730万円
特別会計			
住宅新築資金等貸付事業	2億4,192万円	1,570万円	2億4,192万円
し尿浄化槽管理	334万円	105万円	49万円
国民健康保険	24億3,628万円	20億9,427万円	20億4,641万円
介護保険事業	20億7,219万円	16億1,657万円	18億2,020万円
後期高齢者医療	3億7,063万円	2億9,224万円	3億2,271万円
合計	51億2,436万円	40億1,983万円	44億3,173万円

基金の現在高 3月末現在高

財政調整基金(減債基金含む)	13億8,082万円
公共施設整備基金	1億8,273万円
その他基金	7億1,965万円
合計	22億8,320万円

町債の残高 3月末現在高

一般会計	95億 663万円
住宅新築資金等貸付事業	1,226万円
下水道事業	38億2,314万円
水道事業	11億1,806万円
合計	144億6,009万円

水道事業会計	予算額	収入支出済額
収益的収入	6億4,692万円	6億3,275万円
支出	7億2,568万円	6億9,410万円
資本的収入	3億5,103万円	2億6,292万円
支出	4億3,344万円	3億6,792万円

下水道事業会計	予算額	収入支出済額
収益的収入	7億8,409万円	7億2,558万円
支出	6億6,041万円	5億8,798万円
資本的収入	4億6,203万円	3億8,010万円
支出	6億3,953万円	5億5,883万円

※町債の償還に際しては地方交付税により一部補てんされるほか、財政の硬直化を防ぐため、計画的な運用に努めています。
 ※令和元年度の決算は10月号広報でお知らせします。

新型コロナウイルス・定額給付金に便乗した悪質商法にご注意!!

くらしに役立つ生活情報

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、相談数が増加しています。消費者庁および国民生活センターでは、相談事例を公表し、十分注意のうえ、正確な情報に基づいて冷静に対応するよう注意喚起しています。

なりすましの事例

保健所の職員を名乗る者から「家族は何人。マスクを直接届ける」と電話があった。中央省庁を名乗りマスクと検査キットを送ると電話があり、家族構成やかかりつけの病院を聞かれた。保健所の依頼で来たと騙る事業者から、検査薬を、今回特別に選ばれた方に10万円で販売すると勧誘された。市の新型コロナウイルス対策室を名乗り、個人情報聞き出す不審な電話。携帯電話会社名で、新型コロナウイルス関係の助成金を配るとのメールが届いた。「新型コロナウイルスの検査が無料で受けられる。マイナンバーが必要。今から自宅に行く」という電話があった。信用金庫の職員を名乗る電話があり、新型コロナウイルスの関係で口座番号と暗証番号を聞かれた。水道局をかたり、新型コロナウイルスを除去すると不審な電話があった。

オレオレ詐欺の事例

息子を名乗り「上司に借りたお金を返す」と電話があり、上司から「新型コロナウイルスで困っているのだからすぐにお金を返してほしい」と頼ま

れ、現金を手渡した。

その世の事例

「マスクが買えるサイトがある」というSNSの広告を見てマスクを注文したがキャンセルしたい。新型コロナウイルスが水道水に混ざっているとの不審な電話。「下水道管が汚染されているので清掃します」とのSMSが届く。排水管高圧洗浄のチラシを見て電話したら「排水管が汚染されている」と言われた。不審なマスク販売広告メールがスマートフォンに届いた。マスクを無料送付するというメッセージが携帯に届いた。新型コロナウイルス流行拡大の影響で金の相場が上がるため、金を買うように言われた。

消費者へのアドバイス

根拠のない話には絶対に耳を貸さない。行政機関の職員を名乗るあやしい電話や心当たりのないメールやSMSが届いても反応しない。悪質な勧誘を行う業者には耳を貸さない。不審に思った場合や、トラブルにあった場合は、最寄りの消費生活センター等に相談を。少しでもおかしいと感じたら早めにご相談ください。
 *消費者ホットライン…

「188(いやや!)



相談員 宝持 義昭